



ご挨拶

会長 赤鹿 正剛 (3期)

「本気」と「やる気」

本気の「本」は、木の根もとの部分に一線を加えて木の根もと、即ち「もと」の意味を表わし、又、物事の初め、かなめ、中心、気力のもとの意味がある。

そして「気」は、心気、意志、勇気、活気の気であり、本気は活気のもと、勇気を表わす。

一方、「やる気」の「やる」とは、行動する活力の動きであり、行動力の勇気を表わしている。

「本気」と「やる気」はお互いの相乗効果で、本気でやる気を出せば、より良い結果が期待できると思われる。

私たち OB・OG 会も、70 周年記念事業も成功裡に終わり、現在は次の 80 周年への、第一歩を歩み出している。

振り返ると、OB・OG 会の会員も、延べ約 800 人になっている。

私達の創立時の目的と理念である、母校のハンドボール部への求心力の維持が出来るような活動、OB・OG 会に帰属する意識を持てるような活動を再考すること、会員各位の「本気」と「やる気」が高まれば、現在、現役部員の増加している今が、一番大切な絶好の時期ではないでしょうか？

今年4月からは、OG の堀川先生も母校に就任されており、男女共充実した一番好期の時と思われます。

毎年毎年、順次 OB・OG 会会員として若手が増え、現役への交流・支援が深まり、且つ、会員相互に「本気」と「やる気」が相乗効果を生めれば、私達の OB・OG 会も、今後、益々基盤が強固なものになるでしょう。

みんなで、頑張りましょう！



訃報連絡

(1) 3代目顧問 中出 盛雄 2011年7月9日逝去 享年 86 才

昭和 23～37 年の間、母校寝屋川高校ハンドボール部顧問として、女子 10 回、男子 3 回のインターハイ出場、その内、女子の全国優勝4回、国体優勝1回と、まさに「ハンドの寝屋川」の名を全国に響かせられました。寝屋川高校ハンドボール部「中興の祖」とも言うべき中出先生が、長年の生活習慣病との闘いの末、「胃がん」により、7月9日の朝、子供時代を過ごされ(生家、滋賀県安土町)、近年居を構えられていました京都の地で、ご家族に看取られ、帰らぬ人となりました。(葬儀は、ご遺族の意志により、京都で家族葬として、執り行なわれました。)

先生は、ご自身 11 人制のプレーヤーとして外国のチームが来日した時には、代表選手として選ばれ、活躍もされました。

日本体育大学卒業後は、寝屋川高校、枚方高校、大阪薬科大学を始め、多くの学校でハンドボールの普及・技術指導に取り組み、その技術・指導は超一流で、まさに、ハンドボールに掲げられた一生涯でした。

心より、謹んでご冥福を祈り、感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

OB・OG 会では、先生の悲報に接し、いずれかの日には迎えなければならぬと覚悟はしていましたが、改めて寝屋川高校にハンドを定着させ、超一流の足跡と、その指導は、生徒・会員各人の人生にも多大な影響を与えられ、教訓は心のよりどころであり、中出先生の存在の大きさを痛感するところです。

我々は今後も、先生のご意志を受け継ぎ、寝屋川高校ハンドボール現役、OB・OG 会の活動の発展、継承を、今一度、心するところです。

つきましたは、中出先生のご遺徳を偲び、先生をお送りする言葉、お人柄を表す話・エピソード、活躍時代の模様・出来事、先生について披露したい話し、先生との思い出、今だからいえる話し等を、次回 2011 年 12 月発行の会報で特集したいと思います。

是非、会員皆様の多数の寄稿を、お願いします。

[送付先]

締切り

… 10月20日(水)

・原稿の字数については、制限はありません。

・思いを忌憚なく、お書きください。

OB・OG 会メールアドレス … kanri@neyagawahandball.net

文章は、会報に同封の料金受取人払郵便で、送付ください。

事務局 … 20 期 寺西 啓三

メールアドレス kkteranishi@yahoo.co.jp

〒573-0013 枚方市星丘 4-12-8

TEL 090-5887-8777

FAX 072-849-7237

現役の活動状況

顧問 赤星 明

第 65 回高校春季総合体育大会兼 第 62 回インターハイ予選

2011年4～6月

男子

[北ブロック大会・リーグ戦]

| | | | |
|-----|----|----|-----|
| 寝屋川 | 19 | 16 | 香里丘 |
| 寝屋川 | 13 | 10 | 茨木 |

[北ブロック大会・トーナメント]

| | | | | |
|-------|-----|----|----|------|
| 1 回 戦 | 寝屋川 | 19 | 7 | 都島工 |
| 準々決勝 | 寝屋川 | 10 | 13 | 千里青雲 |

(中央大会出場ならず)

前回の会報にも書いたのですが、男子チームも加堂さん(14 期生)の指導のもとで、力をつけてきていました。

昨秋の豊中市民大会で、大商学園(今大会5位)を破って優勝した時には、近畿大会出場(男子5チーム)も、夢ではないと思っていました。

しかし、春にセンターのエースの選手が指を骨折し、ボルトを入れる手術をしたため、今回の大会には、一度もコートに立つことができませんでした。

それでも、残りの選手でチームをまとめ、あと一步の所まで、よくやってくれたと思っています。



寝屋川クラブ会報

試合後は、選手に声をかけることもできず、30分ぐらい話をして行った時も、まだ泣いていました。

期待していたのに、本当に残念でした。

今年の北ブロック大会の優勝は、大商学園(今大会5位)でした。

その後、けがをしていた3年生2人が、夏までがんばりますと言ってくれました。

今夏の大会はフリー抽選ですが、いい思いをさせてあげたいなと思っています。



女子

[北ブロック大会・トーナメント]

| | | | | |
|-------|-----|----|----|-----|
| 1回戦 | 寝屋川 | 15 | 8 | 千里 |
| 準決勝 | 寝屋川 | 11 | 12 | 北千里 |
| 3位決定戦 | 寝屋川 | 11 | 9 | 箕面 |

[中央大会・トーナメント]

| | | | | |
|-------|-----|----|----|----------------|
| 1回戦 | 寝屋川 | 21 | 4 | 三国丘 |
| 2回戦 | 寝屋川 | 14 | 26 | 宣真 (大阪大会2位) |
| 5位決定戦 | 寝屋川 | 18 | 19 | 北野 |

女子チームは、昨秋の新人戦北ブロックで優勝したこともあってか、多くのチームから練習試合を申し込まれました。

春休みには、12チームと練習試合を行いました。

今までで、一番の練習試合の多さだったと思います。

昨年の近畿大会に出場した、京都大谷、武庫川、県立尼崎など、他府県の強豪チームとも練習試合をしましたが、手ごたえはありました。

ケガ人も少しいましたが、インターハイ北ブロックの予選では、決勝戦が勝負だと思っていました。

しかし、準決勝の北千里に、苦戦をしました。

前半3点差で折り返しましたが、後半自分たちのミスで相手に点を与えてしまい、同点になりました。

後半ラスト1分ぐらいの時に、相手の攻めのミスでマイボールになり、トップディフェンスの選手が速攻に走り、そこにボールが出れば寝屋川の勝ちだと思いました。

しかし、日頃からディフェンス専門の選手が出したパスを、相手にカットされ、逆に速攻をされ、1点を失い、11:12で負けてしまいました。

その後の、3位決定戦には勝ちましたが、後味の悪い試合でした。

中央大会に向けての練習は、OGの深水さん(17期生)から援助金をいただいていたので、寝屋川市民体育館を借りることができ、思う存分、練習が出来ました。

その成果でしょうか、中央大会1回戦の対三国丘高校戦(南ブロック2位)では、21:4という大差で勝利しました。

今まで言い続けてきた「守って速攻」の形がやっと出て、半年ぶりに満足のいく試合でした。

次の週は、今大会2位シードの宣真高校でした。

宣真高校は全国優勝の経験もあり、本年のチームも春の選抜大会の近畿の代表で、全国大会出場を果たしていました。(結果的に、岩手県での開催は、中止になりました。)

私は公立の意地を、少しでも見せたいと思っていましたが、過去の対戦では、4点とか5点しか点数が取れていませんでした。

小森園さん(22期生)や、男子をコーチしてくださっている加堂さん(14期生)らが応援に来てくださっているので、恥ずかしい負け方はいやだなあと、選手には我慢して守るように、指示していました。

試合が始まると、まず、寝屋川が2点先取しました。

2階の観覧席から、応援してくれている1・2年生も、鳥肌が立ったと言っていました。

前半大健闘の末、8:10で折り返しました。

しかし後半、退場者が多く出てしまい、結局14:26で負けてしまいました。

私は試合後、選手を褒めました。

みんな満足げでしたが、キャプテン1人が泣いていました。

理由を聞くと、一言「勝ちたかった！」

この言葉を聞いて、善戦して喜んでいた自分が、少し恥ずかしかったです。

試合後、四天王寺高校の繁田先生から、「相変わらずきっちり教えているネ。私もフォーメーションにひっかかったよ」。

大体大浪商高校の工藤先生からは、「いいチームですネ。ここまで公立高校を強くするのはすごいですヨ」と言ってもらい、寝屋川高校のすばらしさを認めてもらえて、とてもうれしかったです。

5~8位の順位決定戦の方は、近畿大会出場権(4チーム)がないぶん、モチベーション維持の難しい試合でした。

1、2年前の時は、近畿大会出場(5チーム)をかけての試合でした。

昨年八尾高校に1点差で敗れた時(私も生徒も、勝てると思っていたので)、試合が終わった次の日も、生徒たちは学校で泣いていました。

今年の近畿大会は、大阪ベスト4までなので、負けても泣かないようにと、生徒には言っていました。

北ブロック優勝の北野高校には、中学時代JOCに選ばれた、すごい選手がいました。

他にも、中学の経験者が2人いました。

昨秋の新人戦の決勝では、18:12で勝ちましたが、春に行った練習試合では、勝てませんでした。

力量的には5分5分だと思っていたので、試合前に「前半我慢すれば、後半は寝屋川のほうが練習を良くしているのだから、チャンスはある」と、言っていました。

私の言った通り、前半8:12で負けていましたが、後半にジリジリ追い上げ、ラスト90秒で同点になりました。

しかし、そのすぐ後に退場者が、1点取られてしまい、勝てませんでした。

終わってから私が話をする時も、生徒たちの顔は満足そうでした。(話が終わって、3年生1人1人と握手をした時は、やはり涙ぐむ者もいましたが)



大阪予選大会結果

インターハイをかけた決勝戦は、男女とも盛り上がった試合でした。

男子は、桃山学院:大体大浪商の試合でした。

延長戦でも決着がつかず、7Mコンテストまで、もつれこみました。

桃山学院の3年生には、小学校ハンドボールの寝屋川スターズで指導した2名が、入部していました。

中学ではハンドボール部がなく、別の運動部に入っていました。ハンド



ボールが忘れられずに、高校では必ずハンドボールのある高校へ、進学すると言っていました。

(1名は、寝屋川高校を受験したのですが)中学を卒業して、桃山学院に入学する前の春休みの間には、寝屋川高校と一緒に練習していました。

7M コンテストの結果、インターハイ出場が決まった時、「おめでとう」と握手をしました。

寝屋川高校に来ていてくれたらなぁと、少し思いました。

女子の決勝も、毎年のように四天王寺・宣真の対決になりました。

試合時間1時間の間、ほとんど競り合っていました。

ラスト5秒で四天王寺がロングシュートを放ち、それを宣真の大型バックスが手に当て、「宣真ボールか?」と思ったそのルーズボールを、四天王寺の選手が拾い、ラスト2秒で得点。

15:14で、四天王寺が優勝しました。

寝屋川高校が、こんな宣真高校を相手に14点取ったことを、今更のことのようにすごいなと思い、頑張った部員達を称えてあげたいと思います。

[現役の状況]

| 学年 | 男子 | マネージャー | 女子 | マネージャー | 合計 |
|----|----|--------|----|--------|----|
| 3年 | 10 | 2 | 13 | 1 | 26 |
| 2年 | 12 | 2 | 11 | 3 | 28 |
| 1年 | 17 | 1 | 15 | 1 | 34 |
| 計 | 39 | 5 | 39 | 5 | 88 |

1年生の入部が多く、全員で88名の部員になりました。

部員は、とても真面目で素直な子たちばかりで、初めはどうやって関わってこうと緊張していましたが、声をかけると、本当に熱心に話を聞いてくれました。

OB・OG会では現役部員のために、OB・OGの方々がいろんな活動をして下さり、部員と一緒に楽しませていただきました。

この4月より、初めてハンドボール部のない学校へ変わり、現在、テニス部の顧問として、毎日、生徒と一緒に練習しています。

しかし、この前のインターハイ予選では、赤星先生や堀川先生のご好意で、寝屋川高校のベンチへ入れていただき、一緒に戦うことができました。

最後の試合まで、選手は全力で戦い、本当にいい顔をして、この大会を終わることが出来ました。

この時の気持ちは、私も同じです。

また、寝屋川高校ハンドボール部に、3年間関わらせていただいたことは、私にとっては母校のハンドボール部以来なので、私としては、第2の母校のような気持ちです。

赤星先生をはじめ、堀川先生、また、いつも暖かく見守り、応援して下さいましたOB・OGの方々には、感謝の気持ちで一杯です。

また、一緒に楽しんでハンドボールをしてくれた、3年間関わった部員にも、感謝の気持ちで一杯です。

寝屋川高校ハンドボール部の一員として、3年間過ごすことができ、とても嬉しく思っています。

現役部員は、たくさんの方々に支えられていると感じ、しっかり練習を積んで、力をつけていってほしいと思います。

3年間、本当にありがとうございました。

寝屋川高校を卒業してから、大学では女子ハンドボール部を創り、また、OGの方たちと寝屋川クラブで、練習や試合をさせていただきました。

しかし、教員になって赴任した学校にはハンドボール部がなく、何度か創部にチャレンジしましたが、結局16年間ハンドボールから遠ざかっていました。

運よく3校目の東百舌鳥高校から、阿倍野高校、大冠高校とハンドボール部のある学校に勤めることができ、それからはハンドボールの指導に没頭しました。

わが子よりも、部員と一緒にいる時間が長かったです。

そのころ、寝屋川高校では大森先生(31期生)について、赤星先生が転勤してこれ、消滅しかけていたハンドボール部を、今のような活気あふれる部へと、力を注いでくださっていましたので、練習試合や公式戦で、寝屋川高校を訪れる機会が増えました。

いつかは母校に勤務し、ハンドボール部を指導できればと願っていたところ、縁あって転勤することができました。

卒業された方は皆同じだと思いますが、私は寝屋川高校が大好きで、ハンドボールが大好きで、この学校を卒業したことを誇りに思っています。

一人でも多くの後輩たちに、この思いを伝えていきたいと思っています。

また、しばらく寝屋川高校を遠ざかっている卒業生の皆さん、是非一度、学校のほうに顔を見せてください。

待っています。



顧問 退任挨拶

江口 英子 (旧姓、西垣)

2008年4月～2011年3月

3年前にご縁があって、寝屋川高校へ来ました。

寝屋川高校の前校では、男子チームの指導をしていましたので、久しぶりに女子のチームに関わることが、とても楽しみでした。

また、赤星先生のもとで、自分にできることは何かと考えながら、ドキドキしていたことを、ついこの間のことのように思い出します。

顧問 就任挨拶

堀川 美子 (旧姓、秦)

2011年4月～

今年4月より、母校で勤務することになりました、27期卒業の堀川美子です。

保健体育を、担当しています。

よろしく、お願いいたします。

2011年

正月ハンドボールの報告

今年も1月8日(土)、母校寝屋川高校グラウンドで、56名のOB・OG、現役の参加のもと、正月ハンドボールが行われました。

当日は1月にもかかわらず、晴天で暖かい日でした。

ここ数年は、現役男女1・2年生の部員数が多いこともあり、活気あふれるプレーに元気をもらう事が出来ました。

続く、第2部新年会には、今年も北岡先生、大森先生、赤星先生が出席くださり、豚汁・おしるこを食べながらの懇談後、恒例のピンゴゲームで懇談



が広がりました。

しかし、残念ながらここ数年 OB・OG の参加者が少なく、現役に押されがちです。

次回 8 月盆サマーハンドボール会には、現役に負けずに OB・OG の皆さんの、多数の参加をお待ちしています。

2011年 総会・盆サマーハンドボールのご案内 現役男女が、元気です OB・OGの皆さんの、多数の参加を、 お待ちしております

今年度の総会、及び、盆サマーハンドボールを、現役の秋季大会(8月10～14日)の関係もあり、少し遅くなりますが、下記日程で行いますので、お互いお誘いあわせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

現役と OB・OG の親睦試合、恒例のピンゴゲム・飲み物・軽食・スナック等を用意します。

近年は現役の活気に比べ、OB・OG の参加が少し少なくなっています。現役への応援の意もこめ、より多くの皆様のご参加をお待ちしています。

| | |
|-------|------------------------|
| 日 時 | : 2011年8月20日(土) 雨天、中止 |
| 総 会 | : 15:30 ~ セミナーハウス |
| 親睦試合 | : 16:30 ~ ハンドコート |
| 懇 親 会 | : 18:00 ~ 19:00 ハンドコート |
| 会 費 | : 500 円 |

会計よりの、御礼とお願い

井上 武久(23期)

会員の皆様には、平素より本会の運営に、ご理解とご協力いただき、ありがとうございます。

次掲の、平成 22 年度年(2010.7～2011.6月)会費納入者の方には、あらためて御礼申し上げます。

今後とも、会費の趣旨をご理解いただき、本会の発展、並びに、円滑な運営を行うため、平成 23 年度(2011.7～2012.6月)の年会費の払い込みにつきましても、会員各位のご協力を、よろしくお願い申し上げます。



払い込みには同封の郵便振替払込書、又は、銀行振込みでお願いいたします。

・郵便局利用

口座番号 01100-6-73829

加入者名 寝屋川クラブ

(注)金額欄には「¥」を書かないで下さい。

この振込用紙には通信欄もありますので、会の運営に対しての、ご意見や近況報告など、お書きください。

・銀行振込利用

振込銀行 住友銀行 川西支店

口座番号 普通預金 1011226

口座名義 寝屋川クラブ 井上武久(イノウエ タケヒコ)

年会費 : 社会人 5,000 円

学 生 免 除 (正月、盆サマーハンドへの参加を、優先する為の、運用上の特別扱いとします。)

平成 22 年度(2010.7～2011.6月)会費納入者

2011.6.30 現在

- 3期 睦月欣子 森広洋子 大槻明子 村田芳子 赤鹿正剛 梅垣修三 酒井良三 中嶋直彦
- 5期 松本由紀子 中東義治
- 6期 望月滋乃
- 7期 金馬桂子
- 9期 高島美世子 太田敦子 長澤邦子 大宮淑子 岸本悦子
- 10期 渚重子
- 12期 中澤三津子
- 13期 平井謙二

- 16期 木野実
- 17期 中田順子 深水汎代
- 18期 木村圭子 谷村千津子 津熊美智子 木村慶次
- 19期 平井晴美
- 20期 仲尾由紀子 寺西啓三 香西安勝
- 21期 菊池和代 今堀太逸 北澤三郎 内田一男 松尾信一郎
- 22期 小森園多恵子 古本まみ 菊地澄子
- 23期 井上武久 葛木啓之
- 24期 小合省三
- 27期 堀川美子 渡部安晴
- 28期 木崎智子
- 29期 南田裕佳理 吉田雅子 久松俊美 興井隆
- 30期 野際登美子
- 31期 田中裕一
- 33期 久木久美子 大塚万里子
- 41期 安田郁
- 43期 小林恭子
- 47期 田中綾 六尾加奈子
- 48期 上田亮一 小寺和美
- 59期 北崎千咲子

会 員 だ よ り

16期 新堂達夫

2010.12月寄稿

第6回ウエルネス・ハンドボール・フィスタ

2010年11月3日(祝)、NPO法人「ウエルネス啓発センター(専務理事加堂政則さん・14期生)」主催の「第6回ウエルネス・ハンドボール・フィスタ」が、開かれました。

会場は「金岡公園体育館」で、大阪府下の小学生ハンドボールチーム、過去最高の8クラブ・22チームが集い、応援の方々(選手の保護者や祖父母たち)の数も多くなり、会場は熱気を帯びました。

このハンドボールフィスタの成功のために、寝屋川高校ハンドボール部 OB・OGの多くの方々が、その中心となって頑張っています。



さらに、鶴見商業高校・大谷高校・住吉学園高校のハンドボール部 OGの方々などにも、大会運営に協力していただいています。

大会会長は、赤鹿正剛さん(3期生 寝屋川ハンドボール OB・OG 会会長)に務めていただいております。現役顧問の赤星明先生には、毎回、競技委員長を務めていただいております。

私は前回に引き続いて、大会実行委員長を務めました。

今回、大阪ハンドボール協会の幸田会長が開会式で挨拶をしてくださり、選手たちに激励の言葉を贈っていただきました。

試合運営に関しては、審判や得点掲示係を参加チームの協力を得ながら、その他、役割分担した各スタッフのチームワークもよく、スムーズに運営することができました。

当日、応援・見学に来てくださった平井謙二さん(13期生)からは、大会協力援助金を寄せていただき、「この取り組みが大きく発展していることを実感した！」という感想をいただきました。

現在、ハンドボールフェスタの様子や記録を「記念誌」にまとめ、発行するための準備活動にとりかかっています。

加えて、子どもたちの活躍ぶりを撮影した数多くの写真を、クラブ・チーム単位で CD にまとめ、選手・指導者・保護者たちに届けられるような取り組みを進めています。

寝屋川高校 16期生「第5回同窓会」

2010年11月6日(土)、寝屋川高校 16期生「第5回同窓会」が OMMビル・東天紅にて、8クラス・103名が集まり、昼食を共にしながら、賑やかに楽しいひと時を過ごしました。

その中で、ハンド OB・OG 関係では、多賀谷博康君が横浜から駆けつけて参加してくれたので、開会前にいろいろと雑談を楽しみました。

古川啓子(竹内)さんとは40数年ぶりに会うことができ、大変懐かしく、再会できたことを、お互いに喜び合いました。

北田弘次君とは、第3回以来、今回も顔を合わせる事ができました。

私は、同窓会を成功させるために、4回開かれた幹事会に参加する中で、きめ細やかな準備活動の大切さを再認識することができました。

今回は3年後に開くことが確認され、クラス幹事役も新しい人にバトンタッチすることができました。

新幹事さんに協力させていただき、より一層幅広く活気ある「同窓会」になればいいなあ、と思っています。

「NPO 法人ウェルネス啓発センター」の「ハンドボールフェスタ」等の取り組みについては、今までも幾度か紹介いただきましたが、このハンドボールの普及取組みに連動(フェスタ参加を含めて)する活動として、現顧問の赤星先生が、現在、毎土曜日の朝、寝屋川市近郊の小学生を対象に、母校寝屋川高校グラウンドで、開催されています「小学生ハンドボール教室」もあります。

ところが、この両取組み共、ゲームにおける審判や技術指導、運営スタッフ等の人手不足で、寝屋川高校ハンド OB・OG 会に、協力要請を受けています。

OB・OG 会会員の皆さんで、運動不足で何か運動をしてみよう、ボランティア活動をしてみようと、思っている方がいらっしゃいましたら、ご協力をお願いします。

<連絡先> 寺西 啓三(20期)
携帯 090-5887-8777

3期 睦月 欣子 (旧姓 千島)

お世話くださる皆様に、いつも感謝しております。
有難うございます。

20期 仲尾 由紀子 (旧姓 坂倉)

いつも、お世話になります。
すっかりご無沙汰して、すみません。
行動が伴いませんが、応援しています。



43期 小林 恭子 (旧姓 奥田) 2010.12月寄稿

お忙しい中、会報の編集作業、いつもご苦労様です。
昨秋の OB・OG 会の日帰り旅行の計画が、中止になって残念ですが、また、盆・正月以外で集合する機会があれば、いいですね。
私はマネージャ(女子)でしたが、もうすっかりルールも忘れてしまい、恥かしい限りです。

同期とは、年賀状だけの付き合いになっているので、また声掛けて、関西にいるメンバーで、集まれたらいいなあ、と思います。

リレ - 伝言板

23期 井上 武久

昭和45年(23期)卒業の、井上武久です。

月日の経つのは早いもので、寝屋川高校を卒業後、40年が経ちました。

私が初めてハンドボールと出会ったのは、中学時代に入っていたバレーボール部に入部しようと練習を見に行ったとき、高校のバレーボール部員の身長の高さに圧倒され、ふと後を見ると、そこにハンドボール部があったからで、「こちらの方が、出来そうかな」と、思わず入部したことでした。

その後、大学時代とあわせて7年間、ハンドボールに明け暮れた毎日を送っていたことが、昨日のどのような気がします。

私の高校時代は、恒例の正月の新年ハンド(当時は1月2日が恒例でした)、ナイターハンド、合宿時等にも多くの先輩方から情熱的な指導を受け、当時は、先輩方が地獄の閻魔様の使いの赤鬼、青鬼のように思えましたが、今は古きよき思い出となっております。

また、寝屋川ハンドボールを介して、世代を越えた人との交わりで多くのことを吸収し、一つの出来事についての答えは、ひとつしかないと思っていたものが、世代により、又、立場によっても、見方や考え方に違いのあることも教えられ、社会人生活にも、大いに役立ったと感じています。

社会人になってからは、ハンドボールとの関わりも途切れがちになっていましたが、平成5年に発足した寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会の会計を任せられ、プレイヤーとしては無理ですが、再び寝屋川ハンドとの接点が出来、創部60周年、70周年記念事業にも参画させていただき、多少はお役に立てたかなと思っています。

記念事業の式典は、多くの会員方の参加で盛大に催行され、久しぶりにお会いできた方もあり、現役当時の話題や現況報告等で、大いに盛り上がっていました。

このような楽しいひと時を過ごしているのを見るにつけ、会員の方々には記念事業だけでなく、毎年恒例のナイターハンド、正月の新年ハンドにも参加していただき、より一層の世代を超えた交流を深めていきたいと思っています。

蛇足ですが、会計の立場で、将来の寝屋川高校ハンドボール部の益々の発展のために、一人でも多くの方に出来る範囲で結構ですので、年会費



の協力をお願い致します。

最後に、私の近況ですが、今でも気持ちは、日々青春時代を送っていますが、今年3月に2人目の孫が生まれ、家内の携帯に定期的に送られてくるメールの写真を見ながら、目じりを下げている自分に気がつく、我に返り、好い？お祖父さんになったものだ、歳を実感する、今日この頃です。

それでは、今回は18期の津熊美智子先輩、又は、木村圭子先輩に、引き継ぎたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

36期 木村 圭以子 (旧姓、高尾)

寝屋川高校に入学し、どのクラブに入ろうか考え、「初心者でも出来そうで、そんなに弱くないクラブ」という条件に当てはまったのが、ハンドボール部でした。

1年生の時は人数が少なく、練習もままならない時代もありました。

しかし、新入生が入り、人数が増えてからは、厳しい練習が続きました。

夏休みの練習は、午後から始まるのですが、炎天下の中、寝屋川駅から学校へ向かう途中、「あー、クラブ休みたいなー。車にぶつかって命には別状ない「骨折」ぐらいのケガでもせえへんかな・・・」と何度も何度も考えながら歩いていました。(実は今でも、仕事に行きたくない日の朝は、バイクに乗りながら、同じ事を思っています。)

四天王寺高校や住吉学園など、大阪市内の強豪私立校へも、遠征に行きました。

武庫川女子大学へ行った時は、その監督がめちゃくちゃ怖くて、「早く帰りたい！二度とこの大学には来たくない！」と、そればかり考えて、練習しました。

そして、3年生のインターハイ予選で、やっとベスト4に入った時は、本当に嬉しかったです。

私は大学卒業後、寝屋川高校に体育科の非常勤講師として、二年間勤めました。

もちろん、ハンドボール部の練習もみえました。

でも、自分ですのと指導するのは、大違い。

「走れ！」「ボール見ろ！」程度は言えましたが、具体的な戦術や技術指導が出来ず、情けなかったです。

私は「指導」ではなく、部員達がさぼらないように「見張っていた」に近かったように、思います。

当時、怒鳴り倒していた部員の皆さん、ごめんなさい。

寝屋川高校を退職後は、数校の高校で講師として勤め、一旦、教員生活は終わりました。

10年ほど、別の業界で働いていたのですが、やはり教師への夢は断ち切れず、採用試験を受け、運良く合格。

現在は、高槻市内で、小学校教師をしています。

小学生はかわいいです！

憎らしいことを言ってきたり、偉そうな態度を取ったりして、「こいつ！」と思う瞬間はありますが、やっぱりかわいいですねえ。

最近は、若い先生がどんどん増えてきています。

子どもは正直で、(特に低学年)若い先生には、ベタベタまとわりつきます。

私は、残念ながら、その経験はなし。

ちょうど、子どもたちのお母さんの年齢に近いので「母性」を出してしまうと、「うっかしい、お母さんとおなじこと言うてる」と、避けられてしまいます。

ただし、保護者の方には、「子育ての経験もあって、先生は話しやすい」と言っていたのですが・・・

今の職場には、高校時代にハンドボール部だったという、20代の先生が2人います。

普段は忙しくてゆっくり話も出来ないのですが、先日職員作業の後、たまたま3人が揃いドッジボールが偶然近くにあって、すぐ「ハンドボールって、これぐらいの大きさやったかなあ」「私、ボールが掴めなくて、松ヤニつけまくってました」「ジャージ、松ヤニだらけですよ」等々、一気に話しが盛り上がりました。

(周りにいた先生達は、ひいていましたが)子どもとドッジボールをすると、ステップシュートを打つような感じで、投げてしまいます。

そして、腕に激痛が走ります。

また、スポーツテストの時、ソフトボール投げで見本を見せたら、かろうじて20メートルぐらいは飛び、子どもたちから、「わー、すごい」と、一応感心してもらいました。

しかし、腕の筋肉が、ちぎれそうに痛かったです。

気持ちでは、負けず嫌いの部分は相変わらず十分あるのですが、体は完全に衰えています。

小学生相手に「まだまだ負けへんで、先生も出来るで！」と、つい張り合

ってしまいそうになるのですが、調子に乗ってマット運動でしようものなら、その日から即、整骨院通いです。

自分を抑えるのに、必死です。

教師の仕事は、正直しんどい時もあります。

そんな時は、「自分がしんどい時は、みんなもしんどい。でも、いつかはしんどい時も、終わりが来る。だから頑張ろう」と、思うようにしています。

きっと、練習や試合でしんどい場面に何度も遭遇して、それを乗り越えられた経験が、生きているのだと思います。

三年間で学んだことが、いろんな場面で、いろいろなかたちで、生かされていることを、年々強く思います。

それでは、もう私の話はこれくらいにして、次のバトンに34期の松永智さんに、渡したいと思います。

47期 尾張 京子 (旧姓、田中)

こんにちは、47期の尾張(田中)京子です (^o^)/ 同期の大西君から、バトンタッチしていただきました。

現在、無職のニート主婦です <(^ ^)> うわっ！！

過去に、パラサイトシングルも、やっておりました (*^*)v！！

とりあえず、ハヤリモノは、片っぱしから乗っかっていくのが、モットー ㄱ寝屋高の格下げをするようなマネをして、どーもスミマセン m(_)_m

おニート主婦も、ミクシー更新したり、K-POPチェックしたり、ランチ行ったり、近所のイケメン探しや井戸端会議と、けっこう大変なんですよお~ (^_^;) へへへへ

...土曜日の昼下がり、うたた寝をしていたら、着メロが流れてきました。

君はどこにいて、誰とどこにいて、どんな服を着て、何して笑ってるんだろう？

(東方神起「Stand by U」)じぇじゅんサランヘヨ~ (*^_^*)

そして、受話すると、「なに、この待ちボイス?!大丈夫?」という、大西君の不信感たっぷりの声。

さすが常識人!高校時代からブレてない!

君って~、君って~ (西野カナ「君って」)

世の中を、マジメに支えてくれていますよね~

ちなみに、待ちボイスは、黒柳徹子さん「徹子でございます」です(*^_^*)

私は現在、千葉県柏市に住んでいます。(柏レイソルでおなじみの...



寝屋川クラブ会報

(^o^)/

主人の転勤で、3年半前に引っ越してきました。

やっと順応し始めた、淡路島ライフから、犬二匹(ダルメシアン&ミニシュナ)もろとも、右も左も分からない、関東圏へ放り出されました \('ロ\)ひょえ～

千葉って、どこ？埼玉って、なに？...状態でした (-_-;)

企業戦士ダンナ様は、(モビル)スーツを着て、東京都内に通勤して、連日連夜、戦っておられます (^o^)/

「マサカズ、いきまーす！」

一方、私と犬二匹は、千葉の片田舎にて、悠悠自適です (*^*)v 極楽極楽～

住めば都～

転居直後は、友人もなく、土地勘もなく、不安だらけの毎日でした。

ヒマすぎて、犬の散歩ばかりしておりました。(- 全 -)犬、大迷惑。

しかし、それが功を奏して？結果的に、犬を介して、知り合いができるようになりました。

もう、犬ナシじゃ生きてゆけない。

犬依存症。

犬中毒。(^^;)

私の孤独と不安を、犬が察知したのでしょうか (?_?)

連れ回すの、ええ加減にせいって、うんざりだったのでしょうか？

イヌ友ができ、さらに、その知人から、貸農園を紹介してもらい、念願の家庭菜園デビューも果たしました。

今年で、農婦3才です (*^*)v

今ちょうど、スナップエンドウの収穫が、ピークです。

スジ取りが面倒ですが、甘くてプリプリ、食べたら元気100倍です。

今年は、「おかひじき」に、初挑戦しました。

さっそく、少量を刈り取って、試食。

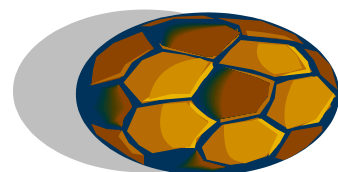
洗って、レンジでチン。

マヨネーズをかけて食べると、シャキシャキした歯ごたえ、クセのないお味、やみつきです！

絶叫！「美味でござります～ (^o^)/」

定番野菜に、決定です。

こんなおいしい野菜が、あったんですね？！



人生、損してた！？

...ぐらいの衝撃と感動！

まもなく、ジャガイモ掘りも行います。

新じゃがを素揚げして、塩でよばれる。

これマジサイコー (あ、口悪い、すみません(^^;))

ジャガバタは、ハズせませんな。

夏野菜の、キュウリ・トマト・ナス・ピーマンも、ぐんぐん成長中。

去年から着手した、モロヘイヤ・空芯菜・黒もちトウモロコシも、グイグイきてます。

特に、黒もちトウモロコシは、台湾留学時に出会った野菜で、珍しい品種です。

インターネットで、ようやく種を購入できました。

黒もちトウモロコシの歯ごたえを、台湾語で「キューキュー」と表現します。

モチモチッと、かみごたえのある食感は、「我最喜歡的QQ」です。

ところで、つい最近(5/25)、「ボラバイト」を始めました。

ボランティアとアルバイトが、融合した造語です。

この時期(5～6月)、保健所に持ち込まれる子猫が、急増するそうです。

その子猫たちが、里親さんと面会するまでの期間、自宅で預かって育てるといふ、お仕事です。

さっそく2匹の子猫、イチゴとニーゴ(1号2号、が命名の由来です)が、うちにやってきました。

体重が700g前後で、とても小さく、危なっかしいです。

朝夕2回、体重測定と健康チェックをして、会社にメールで報告します。

1週間が経過して、2匹とも元気に走り回っているの、ホッとしています。成長と、変化が目覚ましいです。

うちに連れて帰ってきた当初は、カゴから出ず、怖がっている様子でした。

それが、徐々に体力もつき、人間にもなつき、うちの犬にも慣れてきました。

今では、自力でカゴをよじ登って、脱走していきます。

そして、2匹で部屋中を追っかけ合い、取っ組み合いをしています。

同期の仲間やライバルというものは、相互に切磋琢磨できるので、出会えたらラッキーですね。

揉まれて、体で覚え、感覚を養う、というのは、一見乱暴に見えて、実は王道？！

手っ取り早い？！

成長する一番の近道？！

20代後半～現在にかけて、出会った「犬・畑・猫・歌」。

出会うまでは、「苦手・嫌い・興味なし」でした。

今では、真逆です。

動物や自然と日々かかわっていると、観察力と「感じる」力が、発達してきます。

無意識のうちに、目には見えない、耳では聞き取れない、なにかを自然に感じてきます。

心臓にもない、脳にもない、どこにも見当たらないココロ、君といるときは、確かに感じられる～

It's time now～

(UVERworld「クオリア」)

何が正解なんて分からない、どれか1つだけってこともない、今、自分のものさしで歩いていこう

(lecca「My measure」)

以上、「最近こんなことしてます、考えてます」でした。

駄文、乱文、散文をお許しください。

次は、48期ニイヤマ君に、バトンタッチしたいと思います。

立命館大学のハンドボールサークル以来ですが、今でも男前でありますように... (^o^)/

48期 上田 亮一

48期の上田です。

47期の大西先輩、ご無沙汰しております。

お元気そうで、なによりです。

指名していただいて、ありがとうございます。

しっかりと次へと、バトンを繋いでいきますね。

寝屋川高校に入学して、特にクラブに入る気もなく、友達に誘われ、軽い気持ちで体験してみたのが、ハンドボールとの出会いでした。

体験だけのつもりだったのですが、初めての練習後、北岡先生や大西先輩をはじめ、たくさんの先輩方に、ものすごく褒めていただき、そして調子に乗り、見事にはまり込んで、高校・大学、そして現在に至るまで、ハンドボールとお付き合いすることになりました。

高校でのハンドボール部の思い出、最初に思い出すのは、やはり夏の合



宿。

早朝からの練習、がつりの食事、グラウンドの片隅に、種まきに励んだ差し入れのスイカ、合宿所での北岡先生による、寝屋川高校応援歌の熱烈なご指導、どれもこれも、昨日のことように覚えています。

夕方、日が落ち、目を細めてボールを追う頃、やっと練習から解放されると、ほっとしたのも束の間、普段はめったに使うことがないグラウンドの照明が、オン。

あぁ、いつまで練習が続くのだろうと、空を見上げて感じたあの絶望感・・・、思い出すと、今でも背中がゾクッとします。

しかし、その甲斐あって中央大会出場はもちろん、ブロック大会優勝も果たすことができました。

ブロック大会の決勝戦で、たくさんの先輩方の応援に見守られながら、プレーしたあの高揚感と使命感、そして優勝の瞬間にどっと湧いた歓声は、生涯忘れることはありません。

仲間と共に肩を叩き合い、言葉では言い表せない、熱い気持ちを分かち合えたことは、間違いなく、今の自分を支えているものになっています。

高校卒業後、大学でもハンドボール部に所属しましたが、寝屋川高校ハンドボール部で培ったものがあつたからこそ、4年間続けられたのだと思います。(試合会場では何度か46期の横川先輩と、お会いすることがありましたね。)

現在、私は枚方市・寝屋川市にある、学習塾で講師をしています。

主に、数学・理科を担当していますが、教科の指導もちろん、ハンドボールの布教活動にも、力をいれています(笑)。

ただいかんせん、マイナーなスポーツだけに、生徒たちには相手にされない日々を送っています。

寝屋川高校ハンドボール部3年間で身につけた、根性・努力することの大切さ・達成したときの喜び・同期だけではない、人と人とのつながり、すべてが私自身の大切な財産となっています。

最後に、次の方の指名を、させていただきます。

寝屋川高校ハンドボールの要・ポストプレイヤー繋がりができていますので、次もやっぱりポストプレイヤーの、50期の岡君をお願いします。

55期 浦部 佳奈子

2010.12.月寄稿

56期の「わたん」(渡邊 裕人さん)からバトンを受けて、初めて会報に

参加させていただいています。

55期の、ゴールキーパーの「浦部」です。

ハンドボールとは関係のないことばかりの、近況報告になりますが、お付き合いください。

私は大学を卒業してから(前回の会報の「わたん」の記事、思わず「ぷぷ」と笑いました)、家業のレストランで、働いています。

そこで、ここ1年ほど、店内で「イベントを起こす」ことを、重視してやってきました。

が、つい最近、私たちに、ビッグイベントが起きたのです。

関西テレビの「よーいどん」という番組に、出演したのです。

そう、「円 広志」がうちの店に、やって来たのです。

京阪の、ど田舎の御殿山駅に、芸能人が来るだけでもすごいのに、我が店に入店!!

大興奮な、1日でした。

さらに、テレビ放送日には、実は寝屋川高校の卒業生で20期台の先輩である「中川 五郎」先輩が、うちの店でライブをして下さっていました。(皆さん、ご存知でしょうか?フォークソングの代表者の「高石 ともや」さんの、作詞を担当された方と、伺いました)

残念ながら、「五郎」さんは、ハンド部 OB ではないので、リレー伝言版で、語ってはいいただけませんでした(笑)

うちの店で、ハンド部と言えば、もう一人、我ら55期の恩師である大森先生も、実は、忘年会などで、ギター弾きに来て下さることがあります。

英語に、ギターに、ハンドに・・・と、文武両道とはこのことだなあと、感心せずにはられません。

先生に会うと、新しいことに挑戦せねばと、気が引き締まります。

大森先生、いつも、ありがとうございます。

また、55~57期あたりで、先生と飲みに行きたいですね。

それでは、次のリレー伝言版は、同じ中学校を卒業したということで、57期の杉浦さんに、是非、お願いしたいです。

「リレー伝言版」では、会員の皆さんを大体10年単位6グループに分けて、OB・OGの皆様に近況やハンドボールへの思い、現役の時の思い出、等を自由に語っていただき、同期、先輩、そして後輩へリレー形式でつないでもらっています。(ここ最近、3~15期グループは、休稿となっております。)

ています。)

また、掲載された内容についての感想、コメント等(字数制限なし)を、OB・OG会メールアドレス kanri@neyagawahandball.net か、同封の返信用封筒(事務局・20期寺西)で、お寄せください。

会員の皆さんに紹介をし、輪を広めていきたいと思っています。今回は、あなたが指名されるかも...。(記事で、次回指名された方には、後日OB・OG会事務局より、依頼連絡させていただきます。是非この伝言板を利用して、なつかしい方々へ、あなたの熱いメッセージを送ってください。)



< 編集後記 >

1. 住所・氏名・電話の変更・訃報等がありましたら、OB・OG会のHPアドレス、または、会報に同封の返信用封筒(費用受取人負担)により事務局まで、ご一報ください。 kanri@neyagawahandball.net

<事務局> 寺西 啓三(20期)

〒573-0013 枚方市星丘 4-12-8

メールアドレス kkteranishi@yahoo.co.jp

TEL 090-5887-8777

FAX 072-849-7237

2. OB・OG会では、通常大部分の会員の皆さんには、通年では年2回の会報の発行での情報・状況をお知らせのみで、長く・高額の会費のご協力いただいていますことに、感謝しております。

又、会報の原稿依頼では、当初は躊躇されることが多いのですが、結果、皆さん力作となり、寝屋川ハンドに対する、愛着・愛情をふつふつと感じます。

ありがとうございます。

会報を読まれた会員の皆さん、感想・意見等なんでも結構ですので、お寄せください。

OB・OG会事務局の、活力源となります。